

# ピーナツ種皮エキス

## Introduction

### はじめに

ピーナツ (*Arachis hypogaea* L.) は、マメ科ナンキンマメ属の一年生草本です。現在、豆類の中では大豆について生産量が多く、南米では3000年の栽培の歴史があります。原産地であるブラジル、ペルーから原住民により南米全土、メキシコ、西インド諸島へと伝えられ、日本には明治7年に政府がアメリカより種子を導入して各地に配布し、栽培が広められました。

## Functionality

### ピーナツ種皮エキスの生理機能

ピーナツ種子エキスには次のような生理機能が報告されています。

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| (1) 抗酸化作用              | (2) ヒアルロニダーゼ阻害作用 |
| (3) タンパク糖化反応阻害作用       | (4) 血小板増加作用      |
| (5) 抗HIV作用 (特許3010258) | (6) 糞便臭消臭作用      |

## Element

### ピーナツ種皮エキス中の成分

ルテオリン、ルチン、イソラムネチン配糖体などのフラボン化合物、 $\beta$ シトステロールおよびその配糖体、ならびにプロアントシアニジン類などが確認されています (特許2975997)。

## Use

### ピーナツ種皮エキスの利用

- ・健康食品素材として食品や飲料への配合
- ・化粧品への配合
- ・着色料として食品添加物として利用